

熊本県立菊池少年自然の家における 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について



熊本県立
菊池少年自然の家

施設の感染症拡大防止策について

- 1 消毒液の設置
- 2 注意喚起についての掲示
- 3 食堂の使い方
- 4 宿泊部屋の使い方
- 5 お風呂の使い方
- 6 体育室、研修室の使い方
- 7 救護室の設置
- 8 備品の準備

1 消毒液の設置

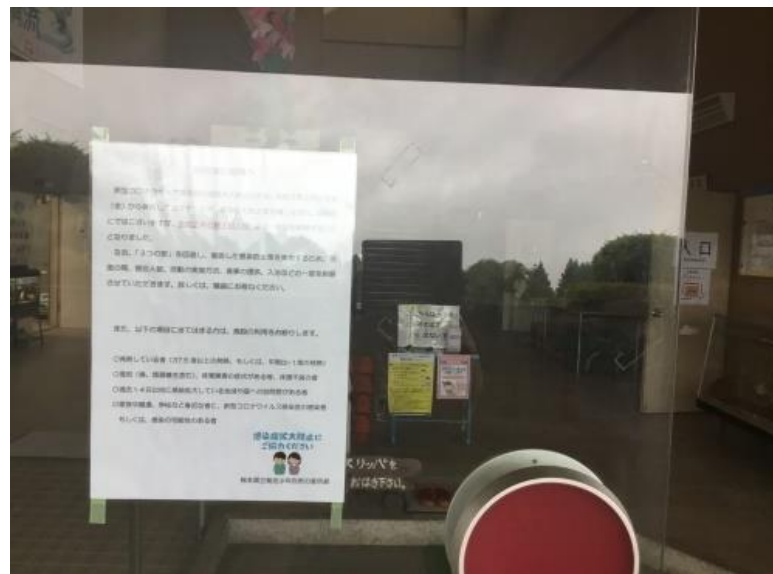
宿泊棟、体育室、研修室、食堂などの入り口に全16カ所 設置



2 注意喚起についての掲示



手洗い・消毒・換気について



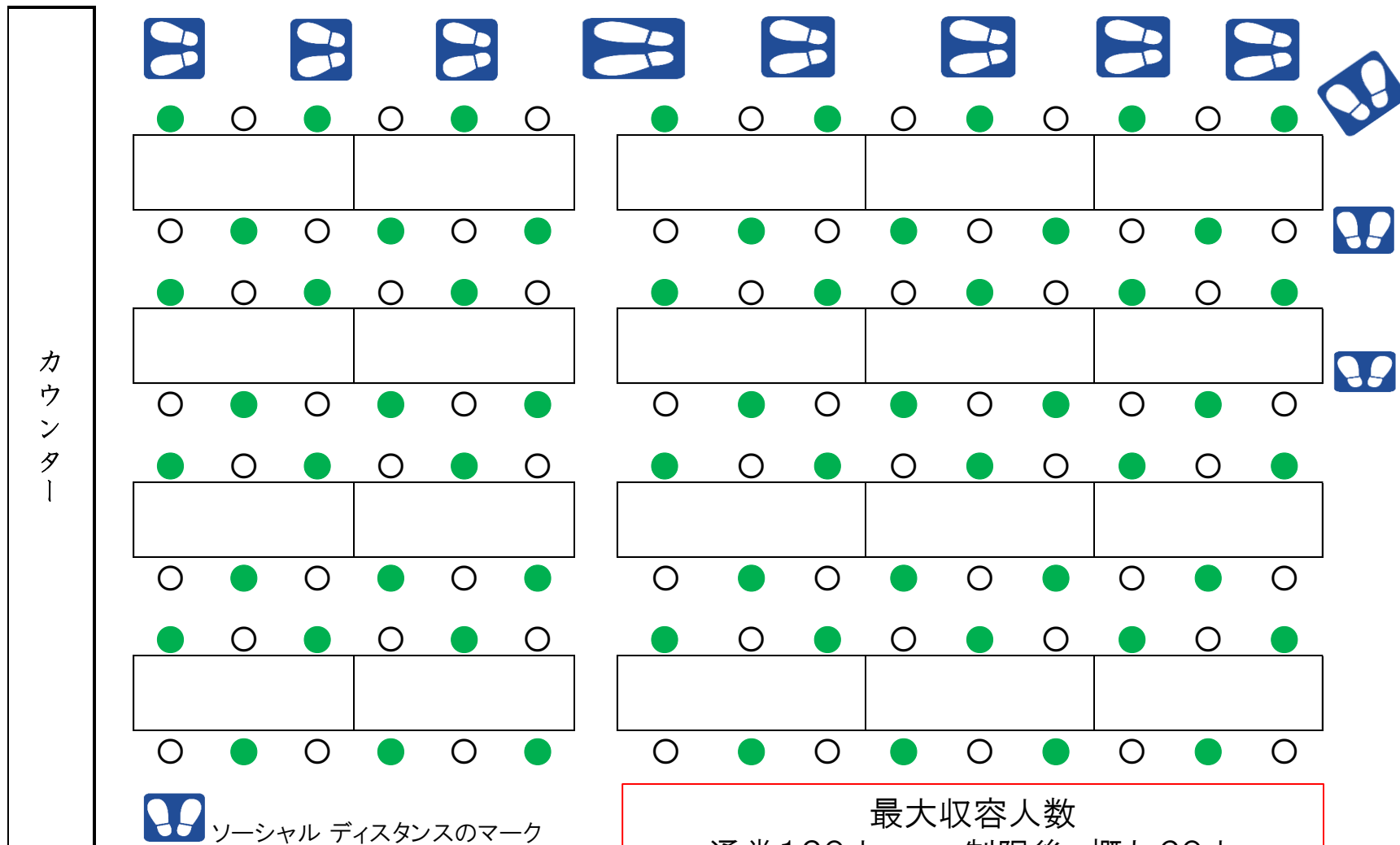
利用上の注意について(玄関)



洋式トイレ ふた表示

3 食堂の使い方

食堂席配置図



最大収容人数
 通常120人 → 制限後、概ね60人
 (前半は●の席に、後半は○の席に座る)

3 食堂の使い方

ソーシャルディスタンス足マーク



ジグザグ席配置

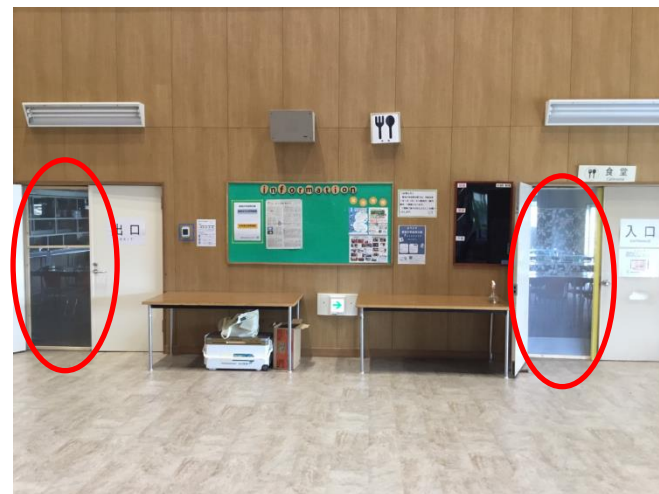


次亜塩素酸水 生成器



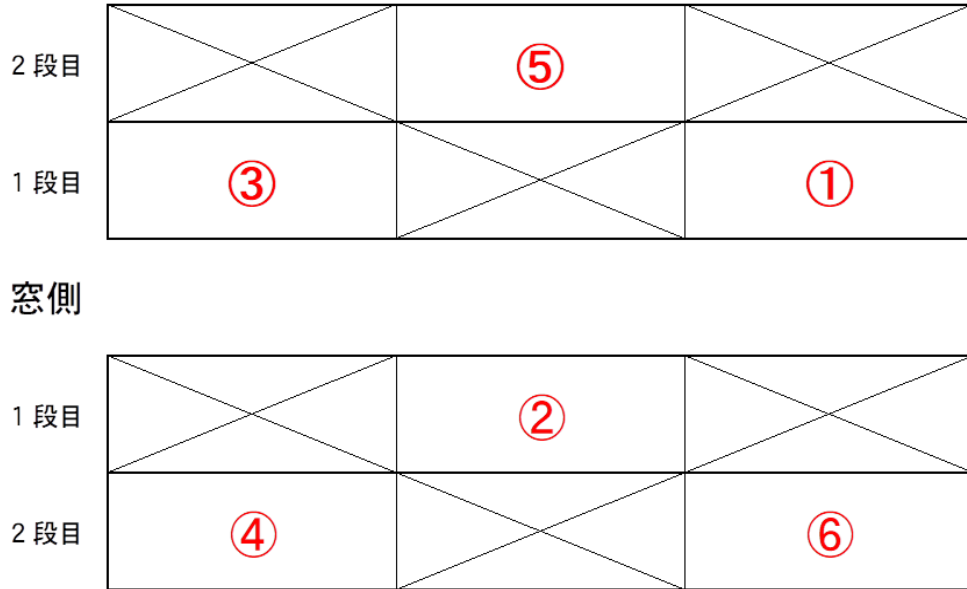
飛沫防止用カーテン
(ご飯・汁物)

換気用網戸の設置
常に網戸の状態
換気実施



4 宿泊部屋の使い方

宿泊部屋 ベッド配置図



番号のあるベッドを使用する。

(通常12人 → 制限後、6~8人)



日ごとに交互に割り当て、連続して同じベッドを使用しないようにしている。(※使用後は、スプレー除菌をする)
シーツ・枕カバーを必ず使用し、毎回クリーニングを行う

番号がないベッドを使用する。

5 お風呂の使い方

通常16人 → 制限後、概ね8人

収納BOXは全30個
使用後は、引率者が消毒をする



更衣所

シャワーは全8個
浴槽に4人、シャワー4人を入
れ替えて使用する



浴室

6 体育室、研修室の使い方



体育室

2方向間の換気
扇風機4台、換気扇3台

ソーシャルディスタンス表示



研修室

2方向間の換気
9つの窓

ソーシャルディスタンス表示

7 救護室の設置



発熱などの症状がある利用者の一時、待機場所

タープテントの中に、ベッドを1つ設置

8 備品の準備



- ・フェイスシールド
- ・アルコール消毒液
- ・次亜塩素酸水 生成器
- ・マスク
- ・非接触型体温計 等